

色あせた1枚の写真が  
 わたしたちに多くの事を語りかけてくる  
 過ぎ去った思い出の日々  
 わたしたちの知らない昔のふるさと  
 思い出のページを繰れば、ふるさとがもっと身近に

Furusato Photo Museum brings back memories of home.

A faded color photograph will bring you many memories—memories of days gone by, the old hometown we never knew. When you turn over these pages of memories, you will feel a warm hometown closeness.



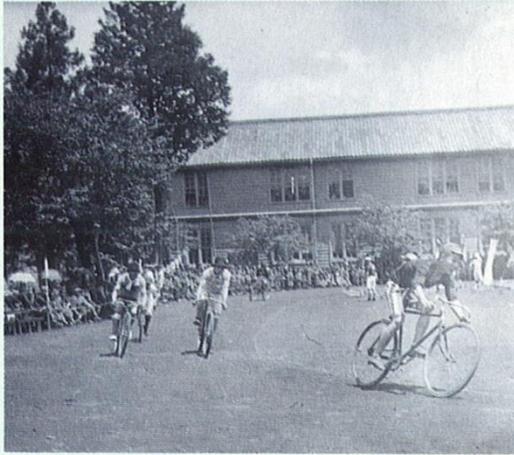
# ふるさとの 「思い出写真館」

◎35年の歩みを振り返る



## 都留市 35年のあゆみ

36	35	34	33	32	31	30	29
3月 市道姥沢川通り線(第五期)完成 4月 都留自動車教習所事業開始 4月 上水道(第一期)拡張工事完成 第一回都留市商業祭実施	4月 都留文科大学開校 12月 都留市商工会発足	4月 甲府地方(家庭)裁判所都留支部庁舎完成 7月 鍛冶屋坂道路完成 8月 こみ焼却場完成 9月 都留職業訓練所開設 11月 朝日馬場・尾咲原遺跡発掘	11月 第一回市民大運動会開催	6月 都留市文化協会発足 7月 都留短期大学長に東京文理科大学名誉教授文学博士諸橋徹次就任 8月 甲府地方検察庁都留支部、甲府地方法務局都留支局合同庁舎完成 11月 都留土木出張所竣工式	3月 市の境界変更に関する住民投票実施開票の結果、分市は不成立と決定 4月 第一回都留市制祭 7月 谷村織物工業協同組合設立 8月 都留市全域に国民健康保険実施	2月 都留短期大学設置許可 3月 都留市民歌制定 4月 都留短期大学開校 6月 都留電報電話局新庁舎開局 12月 都留市工場誘致対策審議会設置	4月 都留市制施行(一町四カ村合併) 世帯数 五、七六一世帯 人口 三一、〇九八人 5月 都留市議会議長 松本太郎 副議長 刑部煥一 就任 6月 初代都留市長選挙執行 小林治郎当选 7月 都留市連合婦人会結成 8月 都留市市章制定 9月 都留市体育協会発足 11月 市立図書館設置 第一回都留市芸術祭開催



## ◎都留市の誕生と昭和30年代

都留市（1町4か村合併）の市制施行は、昭和29年4月29日。前年に施行された町村合併促進法に基づいて当時は全国にたくさん新しい市や町が誕生しました。都留市の誕生もちょうどその時期に当たるわけです。

市では、市制施行と同時に将来の方向を策定しましたが、その中心をなすものは地場産業の振興を図る一方で、工場誘致を積極的に行ない活力ある産業都市を形成すること。また、優れた環境を学園都市構想に発展させることでした。そして、翌30年には市内の小・中学校の校舎建設の槌音が響く中、都留短期大学校が開校。都留市工場誘致対策審議会の設置が行なわれました。また、体育・文化関係の施設の建設、団体の設置、諸行事の開催なども、市発足と同時に意欲的なスタートを切りました。そして、30年代は国民健康保険の実施、消防施設の整備、道路の改修、各地の水道施設の完成など、都市基盤の整備が急がれました。この間、甲府地方検察庁都留支部、甲府地方方法務局都留支局の開設、都留職業訓練所開設、さらに中央自動車道十日市場地区工事着工へと、まさしく日の出の勢いで発展しました。

46	45	44	43	42	41	40	39	38	37
6月	3月	2月	3月	3月	8月	3月	3月	3月	8月
県立都留技能専門学校が小形山大原地区へ新築移転	第一回都留市健康まつり開催 地区森林組合を合併し、都留市森林組合発足	都市計画画街路天神通り線竣工 田原十万石に老人憩の家を設置 都留警察署下谷新明町へ新築移転 旧尾県学校（藤村式建物）を市文化財に指定（第一号）	中央道大月～河口湖間完成供用開始 都留市民憲章制定 都留市スポーツ銀行設立 第一回都留市青年議会開催 財団法人都留市開発公社発足 事務改善のため電算機導入	都留市消防署救急業務開始 市庁舎完成 消防本部を消防署へ移転	都留文科大新校舎完成 第一回老人福祉大会開催	都留市駅発足祝賀会 谷村第三小学校を都留文科大附属小学校に校名変更 火葬場完成	家庭教育学級開設 都留市消防庁舎完成	都留職業訓練所完成 都留市民会館完成 都留文科大英文学科設置	交通安全都市宣言を決議 宝鉱山閉山 山梨福祉事業会の精神薄弱者施設「宝山寮」完成



ふるさとの  
[想い出写真館]

◎中央自動車道の開通と昭和40年代

市制施行から10年の歳月を経て、都留市は急速な繁栄をしましたが、その繁栄にさらに拍車をかけたのが、市制15周年に当たる昭和44年に全線開通となった中央自動車道です。

高速道の利用により東京～都留市間が1時間から1時間30分程度に短縮され、都留市が首都圏域に入ったことによって、最新の文化が導



56	55	54	53	52	51	50	49	48	47
7月	5月	10月	3月	8月	12月	10月	8月	12月	5月
都留文科大学本部棟完成 地籍調査事業着手	都留診療所開設(病床十九床内科) 「青色申告宣言の都市」として発足することを宣言する	都留市内ゴルフ場第二号として、中央都留カントリークラブオープン 福社のまちづくり推進事業開始	消防庁舎完成 中央給食センター完成	北富士周辺障害防止対策事業着工 第二期(下谷地区)住居表示実施 農村環境改善センター完成	農村総合整備モデル事業着工	都留市文化会館完成 第一期(上谷地区)住民表示実施 都留文科大学長に東京教育大学教授 文学博士 和歌森太郎就任 大原工業団地ほ場整備事業完成 禾生農協と中津森・金井農協合併予備契約書調印式	都留市内ゴルフ場第一号として都留カントリークラブオープン 都留市文化会館完成	住吉遺跡復元工事完成 南都留合同庁舎完成 尾県郷土資料館完成 市民グラウンド球技場完成	東部養護老人ホーム、一部事務組合設立 老人ホームは上野原町へ設置 団体営土地改良事業完成 都留市甲州織物求評会開催

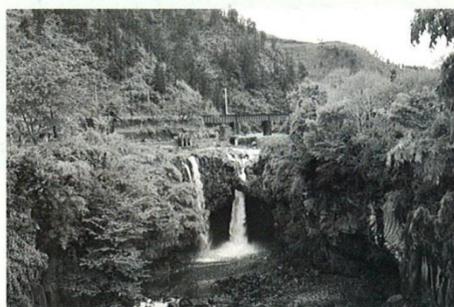
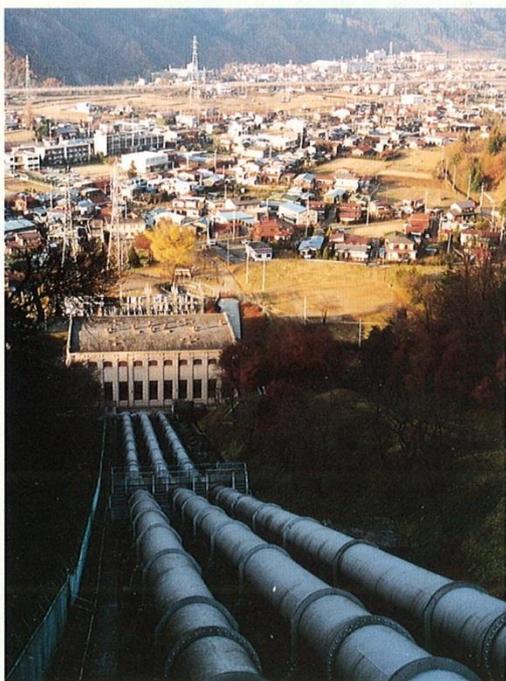
入され、地場産業の振興や企業誘致、また、市民生活の近代化も図られることになりました。これらの変化によって、市の発展はさらに急速に進むことになりました。

なお、市制15周年を記念して、この年に市民憲章が制定されました。

## ●昭和50年代から平成へ

時代は高度成長期から安定成長期へ。「緑豊かな、うるおいのある、明るい市民社会をめざして、市勢の均衡ある発展を図る」ため昭和54年度から60年度に至る7ヶ年計画の「都留市長期総合計画」が策定されました。50年代の特徴は、市内ゴルフ場第一号として、都留カントリークラブのオープン、都留市文化会館開館、都留自然遊歩道整備、アメリカ合衆国テネシー州ヘンダーソンビル市との姉妹都市提携、都留市民プール完成、都留市民総合体育館完成：etc.

豊かな市民生活を反映して、各種の施設建設や整備事業にもゆとりのあるものが多くなりました。市文化財の指定や、市の花・木・鳥が制定されたのもこのころです。また、都市基盤の整備事業や、農・林業の生産基盤整備事業なども高度成長期には及ばなかった細部にわたって行なわれつつあります。



63	62	61	60	59	58	57
12月	11月	10月	7月	5月	3月	10月
市立病院・老人保健施設建設工事着工	都留少年少女発明クラブ発足	都留市民プール完成	新農村地域定住促進対策事業	都留市総合運動公園栗山球場完成	都留市、道志村、秋山村、西桂町の森林組合が合併し南都留森林組合として発足	都留診療所 整形外科増設 (建設省)
11月	10月	8月	4月	3月	3月	10月
バウンドテニス大会開催	第一回全国スポーツレクリエーション祭	鹿留緑地広場(サンパーク都留)完成	都留労働者体育施設(サン・スポーツランド都留)完成	厚原地区土地改良総合整備事業完成	大月都留衛生組合こみ焼却施設完成	国道バイパス都留第一トンネル工事着工
		11月	3月	11月	8月	
		第三期山村振興農村漁業対策事業情報連絡施設整備工事完成	国道都留バイパス一部供用開始	第三次都留市長期総合計画策定	古沢区画整理事業完成	
		10月	4月	11月	5月	
		公式訪問団ヘンダーソンビル市を親善訪問	都留文科科大学社会学科増設 定員六〇名	中央道南側道線完成	アメリカ合衆国テネシー州ヘンダーソンビル市と姉妹都市提携調印	
		7月	8月	3月	5月	
		バスケットボール成年男女・軟式野球成年男子	チビッコ海外使節団ヘンダーソンビル市訪問	地域社会環境整備事業農村情報連絡施設整備工事完成	都留市総合運動公園栗山球場完成	
		5月	4月	3月	3月	
		九鬼団地第二種中層耐火構造五階建一棟二〇戸完成	サン地開発事業着工	都留市総合体育館完成	都留市総合運動公園栗山球場完成	
		3月	3月	3月	3月	
		禾生第一小学校校舎完成	都留市総合運動公園栗山球場完成	都留市総合運動公園栗山球場完成	都留市総合運動公園栗山球場完成	
		10月	3月	3月	3月	
		第41回国民体育大会(かいじ国体)開催	都留市総合運動公園栗山球場完成	都留市総合運動公園栗山球場完成	都留市総合運動公園栗山球場完成	